



## 2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月29日

上場会社名 中央魚類株式会社  
 コード番号 8030 URL <http://www.marunaka-net.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 伊藤 裕康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 福元 勝志

TEL 03-6633-3000

四半期報告書提出予定日 2021年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	27,782	31.1	402	103.6	486	60.8	249	6.2
2021年3月期第1四半期	40,313	14.6	197	28.5	302	18.4	235	31.6

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 334百万円 ( 29.3%) 2021年3月期第1四半期 473百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	62.51	
2021年3月期第1四半期	58.86	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	68,963	27,260	33.5	5,786.78
2021年3月期	68,855	27,245	33.6	5,794.48

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 23,116百万円 2021年3月期 23,146百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期				60.00	60.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000		1,700		1,800		800		200.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載していません。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(会計方針の変更)(収益認識に関する会計基準等の適用)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	4,315,300 株	2021年3月期	4,315,300 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2022年3月期1Q	320,654 株	2021年3月期	320,654 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	3,994,646 株	2021年3月期1Q	3,994,844 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的と破断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、首都圏4都県に発出されておりました新型コロナウイルス感染症に対する2度目の緊急事態宣言が3月21日を以って解除され、サービス分野を中心に消費の持ち直しがみられましたが、都市部での感染症の再拡大により4月25日に3度目の緊急事態宣言が発出され、依然として予断を許さない状況が続いております。

こうした状況下、当社グループの中核事業である水産物卸売事業においては、業務筋向けの販売が苦戦する一方、量販店、通信販売、海外市場向けの売上は順調に推移しましたが、好調な海外マーケットとの買付競争による原料相場の高騰、また鳥インフルエンザの影響による鶏卵相場の大幅な上昇により、利益率が低下しました。冷蔵倉庫事業は業務効率化の効果もあり順調に推移しました。

その結果、当社グループの売上高は「収益認識会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識基準会計」という。)等の適用により27,782百万円(前年同期比31.3%減)となり、営業利益は402百万円(前年同期比103.6%増)、経常利益486百万円(前年同期比60.8%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、249百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

## (水産物卸売事業)

当第1四半期連結累計期間においては、収益認識会計基準の適用により受託品売上、センター物流業務の収入が減額となり、また新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、売上高25,769百万円(前年同期比32.9%減)、セグメント利益は73百万円(前年同期はセグメント損失73百万円)となりました。

## (冷蔵倉庫事業)

当第1四半期連結累計期間においては、収益認識会計基準の適用により配送取扱手数料売上が減額となりましたが、量販店向けの市販用商材を扱う物流センターが好調で推移した結果、売上高は1,768百万円(前年同期比5.1%増)、セグメント利益は192百万円(前年同期比43.2%増)となりました。

## (不動産賃貸事業)

当第1四半期連結累計期間においては、前期における物件売却による賃貸収入減となり、売上高は130百万円(前年同期比4.6%減)、セグメント利益は118百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

## (荷役事業)

当第1四半期連結累計期間においては、顧客への配送業務が増加したことにより、売上高は114百万円(前年同期比10.9%増)、セグメント利益は17百万円(前年同期比28.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ現金預金の減少1,215百万円、受取手形及び売掛金の増加909百万円、商品及び製品の増加837百万円、有形固定資産の減少430百万円、長期貸付金の増加400百万などにより、107百万円増の68,963百万となりました。

(負債)

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金の増加1,062百万円、長期借入金の減少402百万円などにより93百万円増の41,703百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上249百万円、剰余金の配当による減少239百万円などにより、前連結会計年度末に比べ14百万円増加し27,260百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては2021年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,589	8,373
受取手形及び売掛金	10,762	11,671
前渡金	8	14
商品及び製品	5,371	6,209
原材料及び貯蔵品	48	49
その他	582	299
貸倒引当金	△379	△381
流動資産合計	25,983	26,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,032	19,726
機械装置及び運搬具(純額)	1,835	1,751
土地	6,476	6,467
リース資産(純額)	711	694
建設仮勘定	—	1
その他(純額)	244	228
有形固定資産合計	29,300	28,869
無形固定資産		
のれん	56	49
借地権	2,101	2,101
その他	372	342
無形固定資産合計	2,530	2,493
投資その他の資産		
投資有価証券	7,702	7,620
長期貸付金	2,077	2,477
差入保証金	302	300
繰延税金資産	349	350
退職給付に係る資産	738	744
その他	408	403
貸倒引当金	△539	△535
投資その他の資産合計	11,040	11,362
固定資産合計	42,872	42,726
資産合計	68,855	68,963

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,507	10,569
短期借入金	4,000	4,050
1年内返済予定の長期借入金	1,826	1,768
未払金	146	157
未払法人税等	314	290
賞与引当金	252	135
役員賞与引当金	21	—
その他	2,564	2,257
流動負債合計	18,631	19,227
固定負債		
長期借入金	18,787	18,385
長期末払金	193	190
繰延税金負債	1,148	1,121
役員退職慰労引当金	14	9
退職給付に係る負債	1,639	1,608
その他	1,194	1,159
固定負債合計	22,978	22,475
負債合計	41,609	41,703
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,995	2,995
資本剰余金	1,348	1,348
利益剰余金	16,775	16,785
自己株式	△695	△695
株主資本合計	20,424	20,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,621	2,581
退職給付に係る調整累計額	101	100
その他の包括利益累計額合計	2,722	2,681
非支配株主持分	4,098	4,143
純資産合計	27,245	27,260
負債純資産合計	68,855	68,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	40,313	27,782
売上原価	37,655	24,835
売上総利益	2,657	2,947
販売費及び一般管理費	2,460	2,545
営業利益	197	402
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	104	110
その他	49	23
営業外収益合計	155	134
営業外費用		
支払利息	46	45
持分法による投資損失	2	3
その他	1	1
営業外費用合計	50	50
経常利益	302	486
特別利益		
固定資産売却益	210	187
補助金収入	—	2
特別利益合計	210	189
特別損失		
投資有価証券売却損	7	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前四半期純利益	505	675
法人税等	200	297
四半期純利益	305	377
非支配株主に帰属する四半期純利益	70	128
親会社株主に帰属する四半期純利益	235	249

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	305	377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	164	△41
退職給付に係る調整額	3	△1
その他の包括利益合計	168	△43
四半期包括利益	473	334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	408	208
非支配株主に係る四半期包括利益	65	125

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、水産物卸売事業における委託販売取引、帳合取引、センター物流業務の収入などにつきましては、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、これらは代理人取引にあたるため、収益を純額(手数料相当額)で認識しております。また、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました、リベートおよび販売促進費の一部等を売上高から控除しております。

収益認識会計基準の適用については、収益認識会計基準84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。経過的な取扱いでは、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合に累積的影響があれば、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減することになっておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は19,042百万円減少、売上原価は19,034百万円減少、販売費及び一般管理費は7百万円減少、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益につきまして影響はありません。また、収益認識会計基準等を適用したことにより当第1四半期連結会計期間から発生するリベート等に係る「契約負債」につきましては、金額的な重要性が低いことから流動負債の「その他」に含めて表示しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	水産物 卸売事業	冷蔵倉庫 事業	不動産 賃貸事業	荷役事業	計		
売 上 高							
外部顧客への売上高	38,390	1,683	136	103	40,313	—	40,313
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1	68	43	83	197	△197	—
計	38,392	1,752	180	186	40,511	△197	40,313
セグメント利益又は損失 (△)	△73	134	123	13	198	△0	197

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。  
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	水産物 卸売事業	冷蔵倉庫 事業	不動産 賃貸事業	荷役事業	計		
売 上 高							
外部顧客への売上高	25,769	1,768	130	114	27,782	—	27,782
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1	73	43	89	209	△209	—
計	25,770	1,842	174	204	27,991	△209	27,782
セグメント利益	73	192	118	17	402	△0	402

- (注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。